

真夜中のコインランドリーでミニスカートの女の子とチンマン舐め合い そのあと近くの河川敷で

洗濯機を買おうかどうかすごく迷っていたが、自宅にそれほど広いスペースもなくお金も決してあるわけではないサラリーマン新入りの俺は、近くのコインランドリーで洗濯を済ませている。

洗濯乾燥だけが出来ると小さなコインランドリーもある中、俺の行きつけは比較的街中にしては大きいところで、端っこに二台靴を洗う洗濯機もあり、昼間はクリーニング営業もしている。

真夜中1時を過ぎたころだっただろうか。

俺はコンビニへ行こうとすると、玄関の前の風呂場の前のカゴに洗濯物がとても溜まっていたのが目に入ったので、次の

日が休日だったこともあり真夜中だがコインランドリーへ向かった。

透明ビニールにいっぱい洗濯物を詰めて向かう。

すると、中にミニスカートの女の子が足を組んで座っていた。

深夜。俺が使おうとしている他に動いている機はなく、女の子は洗濯をしにきたようではないみたいだった。

スマホ画面をじーっと見つめて触っている。

左手でスマホ。右手の親指を下唇につけている。

ここは背広などのクリーニングでも行きつけで、店主さんと

も俺は仲がいい。

地元から愛されている年季も入った温かみのあるコインランドリーだ。

もちろん業者が多角化などでやっているコインランドリーとは違うわけで監視カメラなどもない。

俺は女の子の横に座り、彼女の剥き出しの太ももに指先を持って行った。

びくんっ！！！！女の子が反応する。

洗濯物の中へ入れて、料金を入れ動かした後のことだ。

俺の右手には直前に店の前の自販機で購入したブラック缶
コーヒーが握られている。

女の子の敏感な反応で思わずコーヒーをこぼす。

床が真っ黒の液体でびしょびしょになっている。

店の周囲には人の気配はない。

静かな街の静寂の夜のことである・・・・。

15分後。どうなっていたかという・・・・。

「んくちゅ・・・・・・・・ちゅぶっ・・・・・・・・んくちゅっ・・・・・・・・」

店内の長椅子に座って両太ももを目いっぱい左右に広げた俺の股間にそそり立つビックペニスを女の子がすすっている。

俺のたわわになったスウェットズボン、靴の少し手前、足首まで女の子によってずり下げられている。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます)